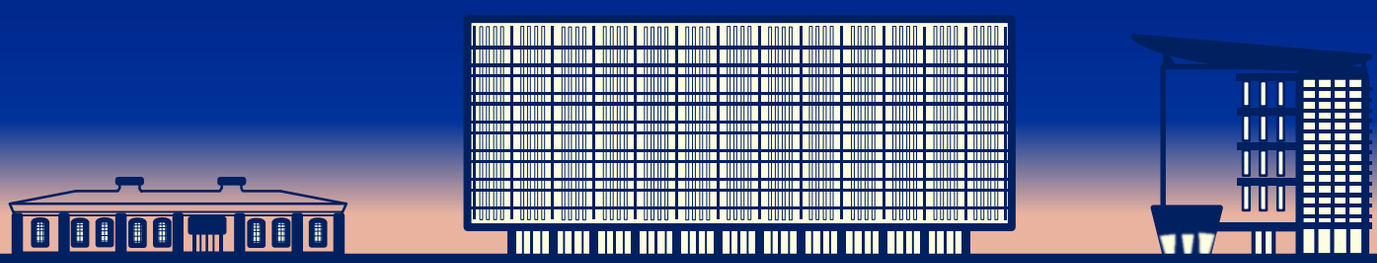
愛される公共建築を
守り・支える



国土交通省 中国地方整備局

官庁営繕業務紹介

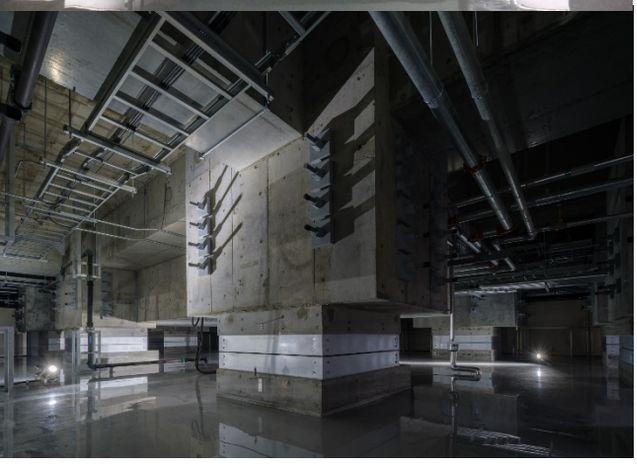
国家公務員一般職
（建築・電気・機械）

MLIT
Ministry of Land, Infrastructure, Transport and Tourism
Chugoku Regional Development Bureau, Government Buildings Department

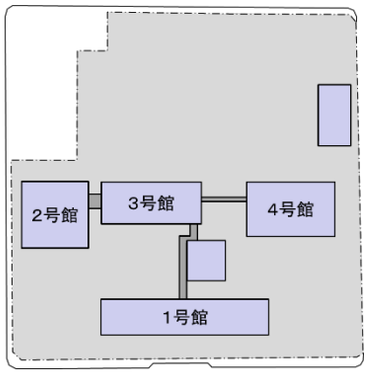
プロジェクト

広島合同庁舎
Hiroshima Government Building
（広島県）

広島合同庁舎は１号館から４号館までの４つの建物から構成され、中国地方整備局をはじめとする約30の国等の官署が入居する大規模な官庁エリアです。
災害発生時には災害応急対策活動の拠点として重要な機能を担います。



出典：国土地理院



広島合同庁舎に入居している官署

広島合同庁舎には、各省庁のブロック機関が入居しています。

人事院
人事院事務局

内閣府
公正取引委員会事務所支所、管区警察局

総務省
行政評価局

法務省
矯正管区、法務局

財務省
財務局、国税局

厚生労働省
地方厚生局、労働局、労働基準監督署

農林水産省
中国四国農政局広島県拠点

経済産業省
経済産業局、産業保安監督部

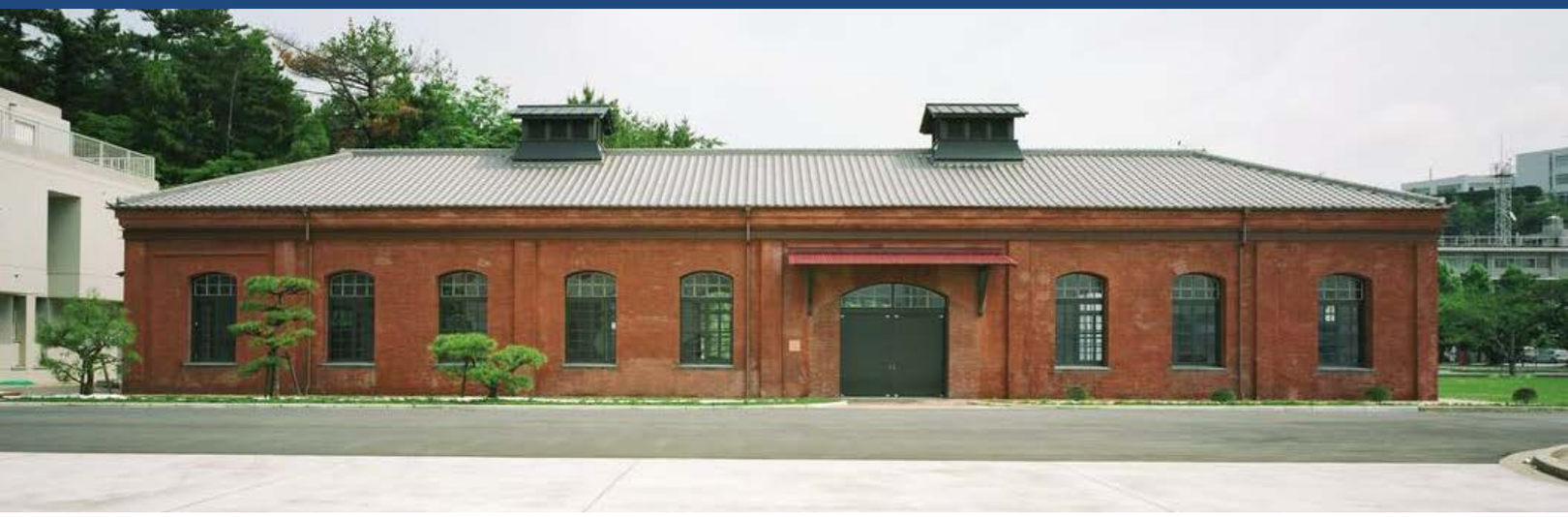
国土交通省
地方整備局、運輸局、地方測量部、地方気象台

環境省
地方環境事務所（広島事務所）

防衛省
防衛局、自衛隊地方協力本部

１号館と２号館では、災害応急対策活動を行ううえで必要な耐震性能を確保するため、 地下階部分の中間階に免震装置を設置する耐震改修工事を実施しました。（１号館：平成20年度～平成23年度、２号館：平成29年度～令和3年度）

広島合同庁舎の周辺には、広島県庁、広島法務総合庁舎、広島高等裁判所・地方裁判所など、多くの行政機関が立地しています。



海上保安大学校
Japan Coast Guard Academy
（広島県）

海上保安大学校は、将来海上保安庁の幹部となる職員を養成するための教育・訓練などを実施する機関です。
中国地方整備局では、これまで、海上保安大学校の一連の施設整備を実施してきています。

煉瓦ホール（大正３年建設の旧火工場機械室）については、耐震補強のうえ建設当時の意匠を保存・復原しており、平成29年には「日本遺産」の構成文化財に認定されました。

海上保安大学校では、アジア諸国の海上保安機関の能力向上支援のため研修実施体制の強化を図ることとしており、新たに実施する研修や宿泊に対応するため、大学校の構内に国際交流センターを整備しました（平成30年度～令和元年度）。

出典：国土地理院

プロジェクト

国立広島原爆死没者追悼平和祈念館

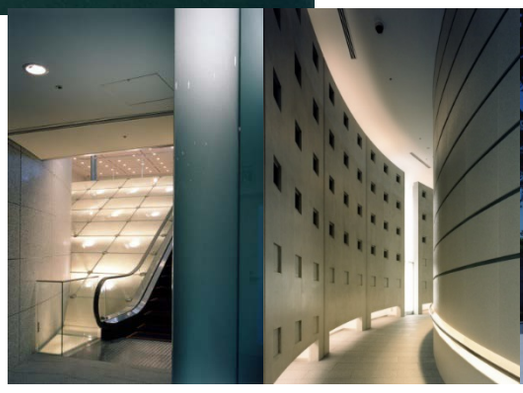
Hiroshima National Peace Memorial Hall for the Atomic Bomb Victims

（平成13年度完成、広島県）

国立広島原爆死没者追悼平和祈念館は「原子爆弾被爆者に対する援護に関する法律(平成６年法律第117号)」に基づいて建設され、「平和祈念・死没者追悼」及び「被爆関連資料・情報の収集及び利用」の機能を担っています。

本施設は平和記念公園の中に建設されており、慰霊碑周辺の景観に配慮し、かつ、公園全体の雰囲気との調和を図るため、施設のほとんどの部分を地中化しています。

出典：国土地理院



呉地方合同庁舎
Kure National Government Building
（平成25年度完成、広島県）

呉地方合同庁舎は、広島県呉市の中心部に位置し、法務支局、財務局出張所、税務署、労働基準監督署及び検察支部・区検察庁の合計５官署が入居しています。

軍港・鎮守府が置かれた街の歴史を感じさせるとともに都市景観に調和したレンガ調タイルを基調とした外観、桜並木の保存と緑化による「潤い」の創出及び来庁者を迎え入れる開放的なアプローチ空間により、親しみのあるデザインとしています。

また、呉市の気候特性である海風・陸風を取り込む方角に窓を設け、階段の煙突効果を利用した自然換気の促進による空調負荷の低減を図り、環境に配慮した庁舎となっています。

岡山第2地方合同庁舎　設備棟
Okayama 2nd National Government Building
（令和2年度完成、岡山県）

岡山第2地方合同庁舎では、「防災・減災、国土強靭化のための3か年緊急対策」（対策期間：平成30年度～令和2年度）に基づき、浸水対策のための自家発電設備の更新を行いました。

災害応急対策の活動拠点となる合同庁舎では、大規模停電や豪雨災害等が生じた際に、活動への支障となる浸水や容量不足、故障のおそれを解消するための自家発電設備、受変電設備改修を実施しています。

本事業では、十分な容量の自家発電設備を設けるとともに、浸水を避けるため高床式としました。

廿日市地方合同庁舎（平成20年度完成、広島県）

松江地方合同庁舎（平成15年度完成、島根県）

広島港湾合同庁舎
（昭和44年度完成、平成26年度耐震改修、広島県）

下関地方合同庁舎
（昭和53年度完成、平成28年度耐震改修、山口県）

他にも多くの官庁施設を手がけています！

松江法務総合庁舎
（令和6年度完成、島根県）

広島地方検察庁尾道支部
（令和4年度完成、広島県）

中国四国管区警察学校生徒寮
（令和4年度完成、広島県）

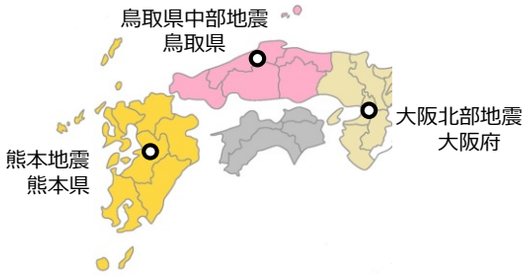
山口地方検察庁下関支部
（令和2年度完成、山口県）

広島法務総合庁舎
（平成23年度完成、広島県）

美保航空基地
（平成22年度完成、鳥取県）

官庁営繕の災害対応

災害発生時、営繕部では各省各庁に対して、被災した官庁施設の継続使用の可否や応急措置の要否等の判断にかかる技術的支援を実施しています。



・緊急災害対策派遣隊（TEC-FORCE）による対応

大阪北部地震（平成30年6月）

平成30年6月に大阪府北部を震源とする最大震度6弱の地震が発生しました。

発災後、営繕部から先遣隊として2名の緊急災害対策派遣隊を派遣し、発災から1週間後に、応急危険度判定（※）を行う被災状況調査班として3名を派遣しました。

建築分野のニーズの把握や、茨木市庁舎の被災状況調査や市内の小中学校12校のブロック塀の調査を実施しました。

※大地震により被災した建築物を調査し、その後に発生する余震などによる倒壊の危険性や外壁・窓ガラスの落下、付属設備の転倒などの危険性を判定すること。

ブロック塀の危険性の調査

ブロック塀のひび割れ計測

被災状況調査結果の報告

鳥取県中部地震（平成28年10月）

平成28年10月に発生した、鳥取県中部を震源とする最大震度6弱の地震では、営繕部から7名の緊急災害対策派遣隊を派遣し、学校などの公共建築物について応急危険度判定を行いました。

公共施設の被災状況調査

応急危険度判定を行う隊員

被災状況調査結果の報告

熊本地震（平成28年4月）

平成28年4月に発生した、熊本地方を震源とする最大震度7の地震では、営繕部から8名の緊急災害対策派遣隊を派遣し、合計154件の被災建築物について応急危険度判定を行いました。

被災状況調査の様子

応急危険度判定を行う隊員

被災状況調査の様子

国土交通省の「官庁営繕」とは

国土交通省は、「官公庁施設の建設等に関する法律」（昭和26年法律第181号）に基づき、各省各庁の事務庁舎等、国家機関の建築物（官庁施設）の整備に関する業務を行っています。また、国民の共有財産である官庁施設について、行政サービスを提供する場として、災害を防除し、公衆の利便と公務の能率増進を図るため、必要な機能や性能を確保できるよう、各省各庁に対し指導及び監督を行っています。

※「営繕」とは、建築物の新築、増築、改築、修繕、模様替等のことをいいます。

中国地方整備局営繕部の業務と役割

国土交通省中国地方整備局営繕部では、中国地方５県（鳥取県、島根県、岡山県、広島県及び山口県）を管轄区域として、日常生活に馴染みの深い、法務局、税務署、公共職業安定所（ハローワーク）等の一般庁舎や、それらの官署を集約した合同庁舎などの様々な官庁施設について、整備や指導・監督を行っています。

官庁施設の整備は、特殊な施設などを除いて、原則として国土交通省の営繕部が一元的に実施しています。営繕部は、官庁施設について企画、設計、施工（監理）、保全のライフサイクルの各段階で総合的に関与し、国家機関の建築物に関する「トータルコーディネーター」としての役割を担っています。

営繕部の技術力

営繕部の役割を果たすうえで、営繕部職員には建築に関する技術力が求められます。営繕業務は建築職、電気職、機械職の３つの専門分野に分かれており、各分野の担当者が互いに密接に連携しながら業務を行っています。

営繕業務の流れ

調査
官庁施設を位置、規模及び構造の観点から調査・診断し、施設整備計画の基礎資料を作成します。

企画
一定の地域内に存在する官庁施設を群としてとらえ、建替えや官署の入替え、長寿命化改修を組み合わせた中長期整備の構想を策定します。
その際、地方公共団体等と連携を図り、国公有財産の最適利用を目指します。

計画
各省庁による官庁施設の営繕計画に関し、技術的な見地から意見を述べます。
また、各省庁と調整のうえ、合同庁舎等の建築や修繕の具体的な計画を立案し、必要な予算措置を行います。

設計・積算
施設整備に当たっての事業目標を設定のうえ、プロポーザル方式等により設計者を選定します。
施設の管理者となる機関と調整を行いながら、必要な指示・審査を行い、基本・実施設計をまとめます。
また、仕様書、設計図等に基づき工事金額を算定します。

工事契約
工事規模、内容に応じた多様な入札・契約手続により受注者を選定し、工事請負契約を締結します。

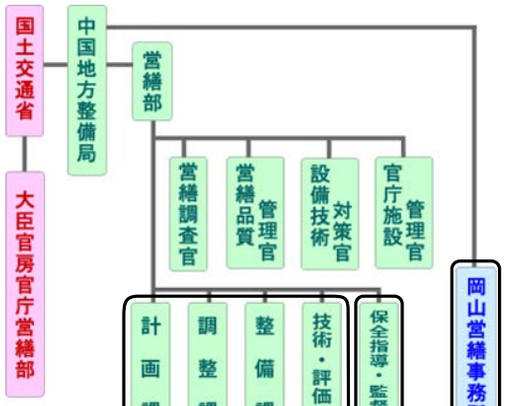
監理・検査
契約書、仕様書、設計図に従って工事の適正な実施を監理します。
また、工事完了後検査を実施し、工事完成を確認します。

引渡
施設が完成すると、これを使用・管理する機関に引き渡します。

保全
施設の適正な保全が確実に実施されるよう、施設管理者に対して保全に関する技術的な指導や支援を行います。

組織

　中国地方整備局における官庁営繕の組織は、本局の営繕部と岡山営繕事務所から構成されています。
　本局の営繕部は４課１室により構成されており、工事の企画・立案、設計及び監督を行っています。
　保全指導・監督室は島根県、広島県及び山口県を管轄し、岡山営繕事務所は鳥取県及び岡山県を管轄し、営繕工事及び保全指導をそれぞれ所掌しています。



■営繕部各課

中国地方５県の工事の企画・立案、設計等を担当

■営繕部保全指導・監督室

島根県、広島県、山口県の営繕工事・保全指導を担当

所在地：広島合同庁舎２号館

■岡山営繕事務所

鳥取県、岡山県の営繕工事・保全指導を担当

所在地：岡山地方合同庁舎

ミッションとビジョン

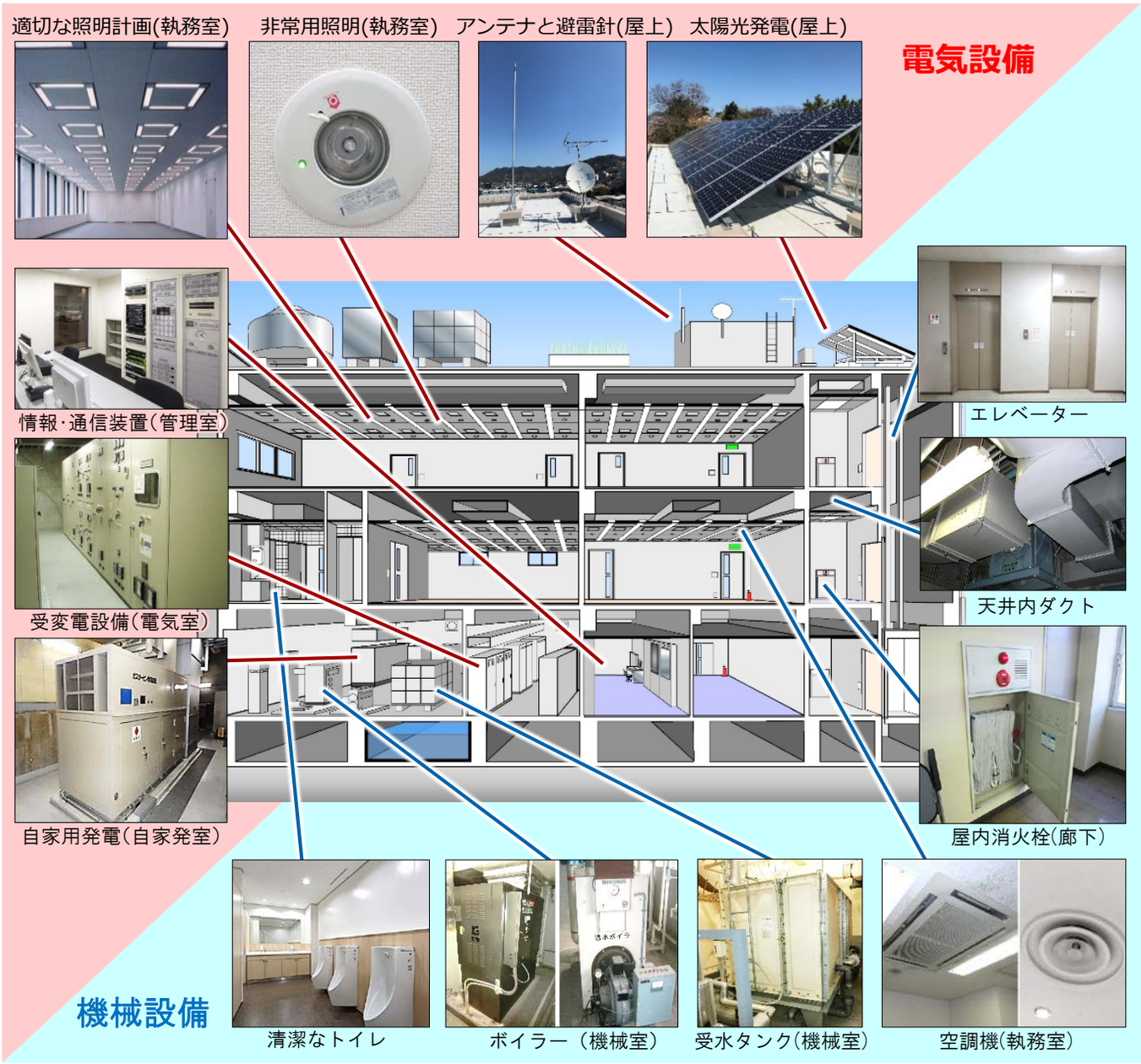
　国土交通省の官庁営繕では、「公共建築分野において常に先導的な役割を果たす」ことをミッションと位置づけて業務を行っています。

ミッション	ビジョン
国民の共有財産である官庁施設に関して、良質な施設及びサービスを効率的に提供し、公共建築分野において常に先導的な役割を果たす。	公共建築分野のリーダーとして、時代のニーズ等に的確に対応し、官庁施設に関し、成果主義の観点から顧客に提供するサービスの価値を効率的に最大化すること。そのために、組織と職員の核心的能力を高める。

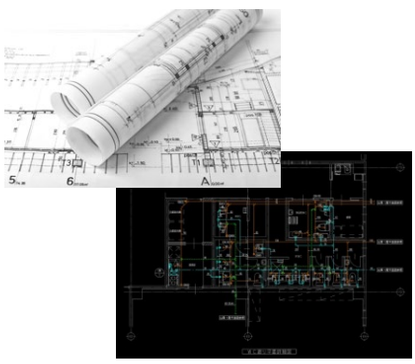
地方公共団体等への支援

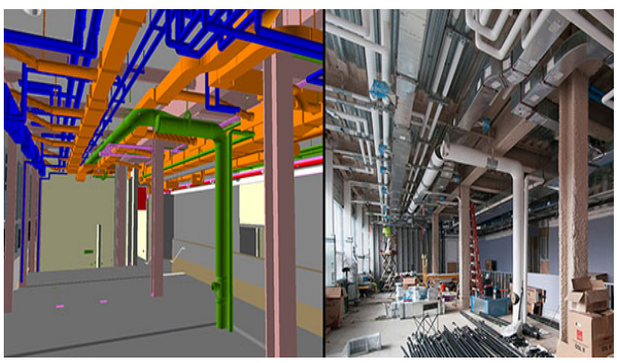
　中国地方整備局では、管内の県及び政令市の営繕部局と定期的に営繕及び保全について情報共有や意見交換を実施することで、地方公共団体における営繕業務をサポートしています。
　また、本局計画課及び岡山営繕事務所に「公共建築相談窓口」を設け、営繕に関する質問や技術的な相談を幅広く受け付けています。

営繕における「建築設備」とは



図面作成と収まり検討





設備機器を適切配置し、それらを結ぶ配管、ケーブル、ダクト等を通すルートやスペースを検討し、具体な図面を作成します。他設備との干渉があれば必要な調整を行います。

建築設備担当の出身学科

営繕部は国家機関の建築物（官庁施設）の整備を行っています。これを聞いて「建物にも照明や空調など色々な設備が必要なことは分かっているけど、建築の知識がない私にできる仕事なのか不安」と思っているあなた。

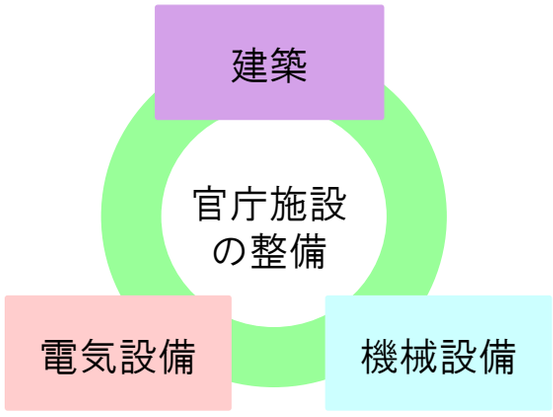
その気持ちは良くわかります。そもそも工学系の大学等で建築設備全般を教えてくれる学科はほとんど存在しません。

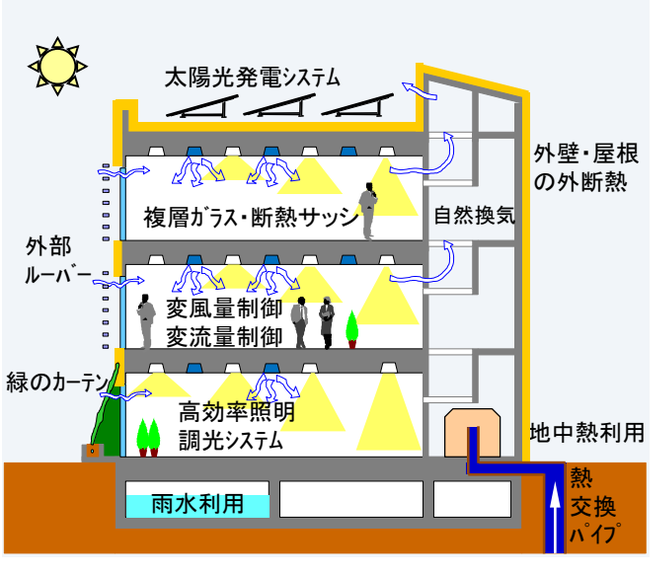
よって、今現在建築設備を担当している人達は、電気科、機械工学科はもとより、学科を問わず設備関係に興味を持っていることで応募し、採用後に色々と教えてもらって仕事を覚えた人達がほとんどです。つまり、そんな心配はいらないということです。

建築設備の役割

いくら立派できれいな建物を作っても、その施設の目的（庁舎、学校、研究所、美術館、体育館等）や機能を果たせなくては、それはただの箱と同じです。

その施設の用途や目的に合致した建物つくるため、建築担当と協力しながら、必要な設備を実装し、ただの箱から機能する施設へと発展させることが設備担当の役割です。





地球に優しい施設を目指す

国際的な約束事項となっている地球温暖化対策への取り組みも、官庁施設整備を担当している営繕部の重要な課題の一つです。特に、新築する庁舎においては、ZEB※の実現を目指しています。

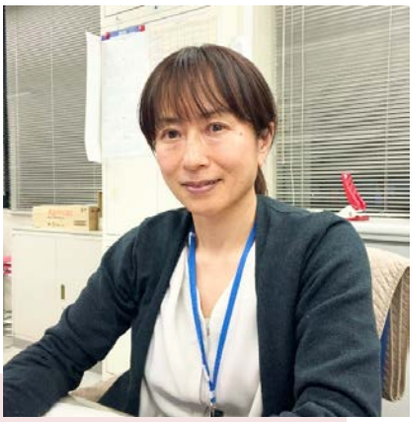
建物を新築・改修する際、建築担当は建物方位や庇・ルーバーの有無、断熱（内・外断熱、ガラス種類）、通風等を検討し、外部負荷を抑えたり熱を逃がす工夫をします。

設備担当は地球温暖化の直接原因となるCO_2排出量を下げるため、その施設の特徴（立地、用途、人員、業務内容等）を考慮し、省エネルギー・省資源となる各種設備（高効率照明、昼光制御、太陽光発電、地中熱利用、雨水利用等）の採用を検討します。

また、長期に設備性能を維持するために必要となる保守スペースの確保も設備担当の重要な検討要素の一つです。

※ZEB（ネット・ゼロ・エネルギー・ビル）：建築で消費する年間の一次エネルギーの収支をゼロにすることを目指した建物。（環境省HPより）

営繕のひとたち



建築

垣内　朝美（平成3年入省）
技術・評価課　営繕技術専門官

仕事内容

私は、入省して最初に建築（意匠）の設計業務に携わり、その後積算業務や工事監督業務、さらに企画・立案・調整に関する計画業務を担当してきました。現在は営繕工事の検査のほか、工事の入札契約に関する事務、完成施設の評価などを行っています。このように営繕の仕事は多岐にわたり、また自分一人でできるものではなく、プロジェクトとしてチームで一体となって進めていく必要があります。

やりがい・魅力

営繕の各担当者だけでなく、入居官署、設計事務所、施工業者などの関係する多くの人達と建物をつくりあげていくので、完成したときの達成感と感動を分かち合えることがやりがいであり、魅力と感じております。

メッセージ

営繕では、法務局、税務署、ハローワーク等の一般庁舎から合同庁舎までいろいろな国の建物について、企画、設計、施工（監理）、保全とその一生に関わることができます。その分学ぶことも多いですが、同じ職種の技術者がたくさんいるので相談しやすい環境です。また、ライフワークバランスについての取組も進められていますので、仕事と家庭を両立させやすいと思います。

仕事内容

私は現在、主に工事における監督業務と建物の保全に関わる仕事を担当しています。「監督業務」とは、適切な工事が行われるよう、建物の使用者・工事の施工者・元設計者などと協議・調整を行うことを指します。また、「保全に関わる仕事」とは、できあがった建物が良好な状態で保たれるよう、建物の管理者の方へ確認・指導を行うことを指します。

私の仕事は、実際に目の前で起こっていることに対して、関係各所と調整しながら進めていくものとなります。往々にして時間的制限が伴いますが、その分完了したときには達成感があります。

やりがい・魅力

この職場の魅力としては、建物の1サイクルに携わることができることだと感じています。建物の1サイクルの工程とは、企画・計画から設計・積算、工事契約から監督、完成後の維持保全に至るまでを指します。各工程に関して、営繕部の各課・室・事務所で分担しており、どの工程についても携わることができます。

メッセージ

私は、最近第1子となる娘が生まれたのですが、その際、職場の方々に協力してもらいながら育休をとりました。第1子ということもあり、妻ともども試行錯誤しながら育児を行いました。

現在、妻も娘も心身ともに健康でいられるのは、育休をとって妻と二人で育児に携われたからだと感じています。このように、ワークライフバランスを実現しやすい職場となっています。一緒に建物の一生に携わる仕事をしてみませんか。

建築

米本　尚生（平成29年入省）
保全指導・監督室

出張の日のスケジュール
9：00　出勤
9：15　始業
　　メールチェック・工事書類確認
11：30　工事現場へ出発
12：00　昼食（出張先にて）
13：00　現場定例会議
　　（工事現場にて工事に関する打合せ）
　　工事状況の確認
　　施工者と打合せ
17：30　庁舎へ帰庁
18：00　退庁

建築

西村　良太（平成30年入省）
整備課

仕事内容

「積算」という、建築工事にかかる費用を算出する仕事をしています。営繕部の仕事は、企画・設計・施工・保全と多岐に渡りますが、設計から施工に至るタイミングで、入札・契約に必要な工事費を、設計図に基づいて、基準などのルールに沿って積算をしています。

やりがい・魅力

積算の仕事はお金に関することなので、非常に責任のある仕事です。だからこそ、自ら発注を担当した工事が無事に契約できた時には一安心するとともに、事業を次の段階に進められることに嬉しい気持ちを感じます。実務においては、ある程度ペース配分することができるので、仕事とプライベートのバランスを取りやすい点も魅力です。

メッセージ

在宅勤務やフレックスタイム制度などその人に合った働き方ができ、ワークライフバランスを実現しやすい職場環境です。私は仕事おわりや休日に職場の仲間とサッカーなどのスポーツもやっています。一緒に仕事も楽しみながらプライベートも充実させましょう！

仕事内容

建築意匠の設計審査を担当しています。業務においては、施設利用者の要望を確認し、設計内容を企画書としてまとめます。その企画書を元に設計事務所と企画書の内容を設計に反映できているのか、官庁施設整備においての基準を満足しているのか等打合せを通して確認を行い、機械・電気担当と調整しながら図面を作成していきます。

こうして完成した図面を元に工事を発注し、設計担当として工事に関わります。工事関係者との打合せを通して調整を行い、設計図面が一つの建物として出来上がる様子を見ることができます。

メッセージ

国土交通省は土木職のイメージが強いと思いますが、官庁営繕も必要な業務の一つで国の建物の整備を通して入居官署の職員が安心・安全に業務を行えるように支えています。個別説明会やインターンシップなどを行っており、先輩職員との交流や業務体験を行えます。私も個別説明会の参加をきっかけに官庁営繕に興味を持ち、入省を決めました。興味のある方は是非参加して頂ければと思います。

建築

佐々木　凌雅（令和6年入省）
整備課

全国で活躍するひとたち

建築

原紺　純花（平成28年入省）
四国地方整備局　整備課

仕事内容

私は中国地整で採用され、計画課、整備課（構造担当）、土木営繕を経験し、四国地整の整備課に異動しました。整備課は、意匠、構造、積算、電気設備、機械設備の分野ごとに担当がわかれていますが、私は主に構造分野を担当しています。構造担当は、柱、壁、床といった構造部材が建物の自重や積載物の荷重を支えることができるか、また、地震に耐えることができるかなどの検討するのが仕事です。各分野の担当同士で意見がぶつかることも多々ありますが、何度も打合せを重ねて、安心・安全で使いやすい建物を整備することができるよう、日々奮闘しています。

やりがい・魅力

管轄が広い（中国地整は中国５県、四国地整は四国４県）ため、自分にとって身近な場所から初めて訪れる場所まで、案件によって様々な地域に関わる機会があることが魅力です。

電気

石原　光男（平成2年入省）
整備課　課長補佐

仕事内容

私は、入省してから電気設備に関する設計・積算業務、工事監督業務、入札契約業務、工事検査業務など多岐にわたって業務に携わってきましたが経験が長い工事監督業務の仕事内容を紹介します。工事監督は契約図書に基づいて良好な施工品質を確保するために、受注者が作成した資料を審査し、工事の遅れが生じないよう工程管理を行い工事現場において図面と相違がないか立会を行うことが主な業務内容です。

やりがい・魅力

自分が設計、工事監督に携わった建物が、何もないところから形になり完成したときの達成感・充実感があります。また、施設利用者が施設を利用して「使いやすい」など喜んでいただけることが何よりのやりがいです。

電気

吉田　智貴（令和4年入省）
保全指導・監督室

仕事内容

国の施設である地方合同庁舎や税務署等の電気設備に関する工事監理を行っています。

電気設備の工事監理では、照明器具・コンセント・受変電設備・電話交換機・LAN・火災報知器等の機器・配管・配線が設計図面や仕様書に適合しているかの確認を行い、使い勝手や保守の方法等の要望について、施設管理者や工事受注者、設計者との協議を行いながら工事を進めていきます。また、施設完成後には施設管理者等に設備の操作方法や維持管理について説明を行っています。

やりがい・魅力

様々な調整や問題点を入居庁、設計者、工事受注者など多くの関係者と協議を行いながら解決し、よりよい建築物ができていくところにやりがいを感じます。

全国で活躍するひとたち

電気

河野　碧（令和2年入省）
北陸地方整備局　整備課
（現　中国地方整備局　整備課）

仕事内容

私は、中国地方整備局に採用され広島を拠点としながら、昨年度までの2年間、北陸地方整備局で勤務しました。

北陸地整は新潟・富山・石川の3県を管轄しており、私は電気設備の設計審査や工事の積算業務を担当しました。業務には出張等も多く、改修対象の建物の現地調査や庁舎を管理する官署の職員に図面説明（改修内容の説明）などを行います。設計や工事に直接携わることができ、分からないことも多いですが、先輩や上司の力を借りて日々頑張っています。

やりがい・魅力

知らない土地で初めての業務を行うことをとても不安に思っていましたが、北陸地整の同期や先輩、上司が温かく迎えてくださったおかげで、のびのびと業務を行うことができました。これは、北陸地整の皆さんの人の良さはもちろんですが、私が転勤する前に中国地整の方々が同期や知り合いに一言声をかけてくださったおかげでもあります。地整は違っても官庁営繕というひとつの組織として繋がっていることを実感でき、これは大きな魅力であると感じました。

メッセージ

学生時代は北陸地方に住むなんて考えたこともなかったので若いうちにこのような経験ができたことはとても良かったと思っています。また、他地整の同世代の方々と交流を持てたことは今後良い財産になると思っています。国という大規模な舞台で仕事をするやりがいを一緒に感じませんか？

機械

竹田　亨平（平成26年入省）
岡山営繕事務所　保全指導係長

仕事内容

私は、空調・衛生・昇降機等を扱う機械設備を担当しており、仕事内容としては、主に２つあります。

１つ目は、建物を建てたり、修繕したりする工事の監督を行う監督業務です。中国地方管内のうち、岡山県と鳥取県にある国の建物について担当しています。

２つ目ですが、建物の機能を維持するため、各建物を管理している各省庁の機関に指導などを行う保全業務になります。関係法令等を基に指導を行いますが、適切な保全を行ってもらうための説明会なども開催しています。

私の所属している課は、営繕の仕事の中でも現地の担当者と接する機会が多く、実際に建物を利用されている方の意見を聞きやすい課だと思っています。

メッセージ

営繕部は建築分野だけでなく、機械設備分野も活躍できる職場です。建物を快適に利用するためには、エアコンやトイレなどは必要不可欠で、それらを担当しているのが、私たち機械設備担当になります。私も大学時代は機械工学を学んでいたため、営繕部で働くことに不安もありましたが、上司や先輩方のあたたかいフォローもあり、楽しく仕事ができています。学んでいる分野に関係なく、建物に携わることができる職場ですので、ぜひ選択肢の一つとして考えてみてください。

仕事内容

建築物の空調・衛生・昇降機などといった機械設備を担当しております。設計業務では各省庁の施設管理者と設計事務所を交えて打ち合わせ（不便な点や、機器の不具合などの聞き込み）を行い、出来上がった設計図面や計算書の審査をします。

また設計が完了すれば工事発注に向けて、必要な費用を算出する積算業務も行います。特にこの積算作業はお金に関することなので非常に責任のある仕事です。

まだまだ未熟で関係官署や設計事務所の方たちとの調整がうまくいかないことがありますが、先輩・上司に日々助けられています。

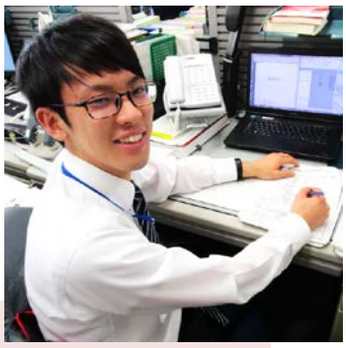
メッセージ

私は4年間ほど民間企業に就職しておりました。以前の職種は建築とは全く関係がなく、入省前は不安もありましたが、優しい先輩方がフォローをしてくれています。今建築関係の知識がない方でも、少しでも建築関係に興味があれば中国地方整備局営繕部の機械職を選択肢の一つとして考えてみてください。

機械

藤岡　翔大（令和5年入省）
整備課

営繕部の外で活躍するひとたち



電気

今川　碧（平成31年入省）
河川部　河川工事課

仕事内容

営繕部では他省庁の建物ですが、河川工事課では中国地方整備局関係（事務所・出張所、道の駅、トンネル電気室、排水機場、除雪基地、宿舎、公園施設…など）の建物の新築や改修の設計・積算と工事監理を行っています。電気設備担当は主に照明やコンセントの配置や電気配線配管のルートなどの検討や工事にいくらお金がかかるかの計算を行います。

やりがい・魅力

河川工事課は少人数で中国５県分の各物件の設計から工事まで担当するため、業務量や出張が多く大変ですが、無事業務や工事が終わったときは達成感を感じています。

また営繕部の様に設計と工事監理で分業でないため、自分で設計したものが完成するまで担当できることと、道路部や河川部の大きい事業にも関われることが魅力だと感じています。

防災・減災

下関地方合同庁舎（山口県、耐震ブレースの設置）

官庁施設は、来訪者等の安全を確保するとともに、大規模地震発生時に災害応急対策活動の拠点として機能を十分発揮できるよう、総合的な耐震安全性を確保する必要があります。
また、近年頻発している風水害に備えるため、災害応急対策活動拠点施設の電力の確保（浸水対策）も必要です。
国土交通省では、大規模災害の発生に備え、防災拠点となる官庁施設の整備を推進し、災害に強い地域づくりを支援しています。

中国地方整備局管内では、令和5年度末時点での耐震化率は99%であり、引き続き耐震化に努めています。

環境対策と木材利用の推進

山口地方検察庁下関支部（山口県、内装の木質化）

国土交通省では、ライフサイクルを通じた環境負荷の低減を目指し、我が国の建築分野における環境対策の模範となる環境負荷低減に配慮した施設整備を推進しています。主な環境技術として、複層ガラス、太陽光発電、LED照明器具などを採用しています。

また、令和3年に施行された「脱炭素社会の実現に資する等のための建築物等における木材の利用の促進に関する法律」に基づき、
公共建築物の木造化や、内装等の木質化を推奨しています。

様々な耐震技術 -免震レトロフィット-

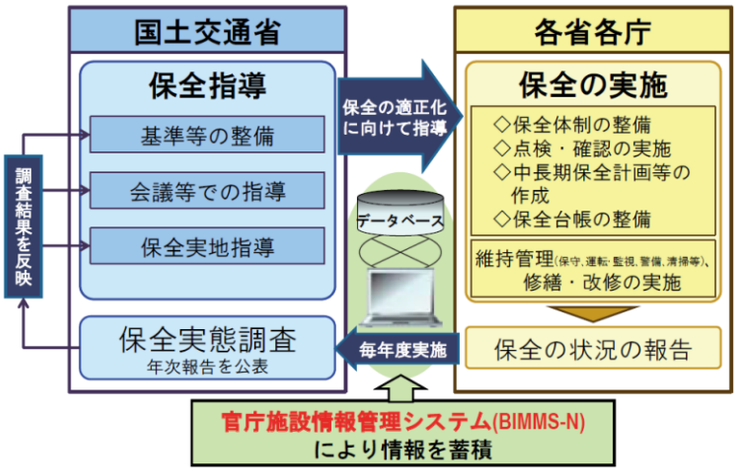
中国地方整備局では管内の官庁施設の耐震化に努めています。主な耐震改修工法としては、現場打ちコンクリート壁の増設、鉄骨ブレースの設置、柱補強等があります。
広島合同庁舎１号館と2号館では、庁舎を使いながら耐震改修工事を行うため、改修中及び改修後の執務環境等に与える影響が少ない免震レトロフィットを採用しました。地下１階の柱頭に免震装置を組み込み、必要となる耐震性能を確保しています。

広島合同庁舎１号館

免震装置（積層ゴム）

オイルダンパー

保全と長寿命化



※「保全」とは、建築物が完成してから取り壊されるまでの間、安全性や執務環境等の性能や機能を良好な状態に保つほか、社会・経済的に必要とされる性能・機能を確保し、保持し続けることをいいます。

国土交通省では、「官庁施設情報管理システム」を導入し、インターネットを通じて、全ての官庁施設の基本的な保全※情報等を把握・分析しています。

中国地方整備局では、このシステムを利用して、保全の状況の改善が必要な施設に対する保全指導を行うとともに、各省各庁による保全に対して、実施方法や内容に係る技術的な指導や支援を行っています。

また、老朽化の進行を防ぐ長寿命化事業（ハード対策）や、効果的・効率的に機能維持するための保全指導（ソフト対策）を実施することにより、官庁施設の戦略的な維持管理・更新に努めています。

地域との連携

松江地方合同庁舎（島根県、市民ワークショップの様子）

官庁施設は都市の中核施設であり、地域の交流拠点となる場合もあります。国土交通省では、地方公共団体をはじめとする様々な関係者と連携し、まちづくりに貢献するような官庁施設の整備を推進しています。

松江地方合同庁舎の整備においては、「地域住民に愛され親しまれる施設整備のあり方」を探る試みとして、設計段階に市民ワークショップを４回開催しました。市民の方々から出された多くの意見や提言を設計に反映するなど、市民参加型の施設整備を行っています。

公共建築の日と公共建築月間

公共建築の果たす役割を一般の方々に広く知っていただくため、国土交通省は、11月11日を「公共建築の日」、また、11月を「公共建築月間」として地方公共団体等と協力してイベントを実施しています。

平成28年度からは、広島県・広島市などと連携し、広島の魅力的な公共建築物のうち、特に通常立ち入ることができない部分などを一斉に公開する「公共建築の一斉公開」イベントを行っています。公共建築を直接体験することで、親しみや理解を深めていただくことを目指しています。

働き方改革

・週休２日の推進

建設工事従事者の週休２日の確保に向けて、国土交通省では、営繕工事において、現場閉所を含む週休２日工事のモニタリングを実施し、その阻害要因の把握とその改善方策等の検討を進めています。

・生産性向上への取組み

国土交通省では、営繕工事において調査・測量から設計、施工、検査、維持管理・更新に至る各段階において受発注者の連携を通じて、建設生産プロセス全体における生産性向上を推進しています。

中国地方整備局では、発注者指定、事業者提案等により施工合理化技術を採用し、設計・施工BIM（※1）、情報共有システム、デジタルサイネージ（※2）、電子白板（※3）、遠隔臨場（※４）等の各種施工合理化技術を実施しています。

※1　設計・施工段階にBIMモデルという、コンピュータ上に作成した3次元の形状情報と材料の仕様等、建物の属性情報を併せ持つ建物情報モデルを活用すること。
※2　表示と通信にデジタル技術を活用して平面ディスプレイやプロジェクタなどによって映像や文字を表示する情報媒体。
※3　パソコンの画像を大画面に映し出し、その画面上で直接操作したり、書き込んだりすることができる機器。
※4　監督職員が現場にて発注者立会のもと行っていた業務を、Web通信を利用し現地に出向かず行うこと。

近年の実施例

近年のＤＸ技術を活用した営繕事業の効率化の取り組みを紹介します。

設計・施工BIM
配管と壁の干渉チェック

遠隔臨場
Ｗｅｂ会議システムを用いた施工現場の確認

電子小黒板
工事情報を記載した黒板を電子化し、工事写真撮影作業を省力化

デジタルサイネージ
工事現場指示や庁舎利用者・周辺住民などに向けた週間工事予定表を電子化し、モニターを活用して効率的に情報を表示

採用されるには

（１）国家公務員採用試験（一般職）を受ける

令和７年度のスケジュールの場合（大卒程度試験）

申込み（インターネット）　：2月20日（木）～ 3月24日（月）
第1次試験（筆記）　：6月　1日（日）
第1次試験合格発表　：6月25日（水）
第2次試験（人物）　：7月　9日（水）～ 7月25日（金）（第1次試験合格通知書で指定）
最終合格者発表　：8月12日（火）

※人事院ホームページ等で最新の情報を確認してください。

（２）業務説明会への参加や官庁訪問を行う

試験に合格するだけでは、国家公務員になれません。採用のための重要なステップとして、第1次試験以後の「個別業務説明会」や、第1次試験合格発表以後の「官庁訪問」があります。業務内容についてより詳しく知ることができるとともに自己ＰＲの重要な機会ですので、必ず参加するようにしてください。

※中国地方整備局ホームページ等で最新の情報を確認してください。

（３）中国地方整備局の採用面接を受ける

最終合格発表以降に、採用のための面接を実施します。面接後に中国地方整備局への採用の可否が決まります。

勤務条件

初任給

大卒程度試験合格者の場合　220,000円～（令和７年４月時点）

このほか、地域手当、通勤手当、扶養手当、住居手当、超過勤務手当、期末・勤勉手当（ボーナス）などが支給されます。

勤務時間

整備局本局　　9：15～18：00（7時間45分）
岡山営繕事務所　8：30～17：15（　〃　）

※フレックスタイム制度もあります。

勤務地

営繕職員となった場合は、整備局本局（広島市）を拠点に、岡山営繕事務所（岡山市）や、他の地方整備局などに勤務することもあります。

研修・ＯＪＴ

中国地方整備局営繕部では、特に若手職員の技術力強化を図るため、多くの研修の機会を提供するとともに、ＯＪＴ（On-the-Job Training：職場内の実務を通じての教育訓練）に力を入れています。

研修の種類	時期・機関	場所	内容
新規採用職員研修	採用直後の15日間程度	中国技術事務所（広島市安芸区）	国家公務員としての心構え、国土交通行政の基礎知識の習得
初級課程営繕科研修	採用年の6～7月頃の7日間程度	国土交通大学校（東京都小平市）	営繕業務の基礎知識の習得
建築実務研修	2年目以降の係員、随時、4～5日間程度	関東、九州等	営繕業務の実務能力の養成
専門課程研修	主に係長、随時、11～18日間程度	国土交通大学校（東京都小平市）	建築計画、設備計画、工事監理、保全、まちづくりなどテーマ毎に専門知識を習得

国・県・市の若手営繕職員合同勉強会

中国地方整備局では、広島県及び広島市の若手営繕職員に声をかけ、合同勉強会を開催しています。この勉強会により、効果的かつ効率的に技術力の向上を図るとともに、組織を超えた枠組みで公共建築を俯瞰することで視野を広げ、交流を深めることで、連携して公共建築を優れたものとしていくための土壌を育むことを目指します。

国土を整え
全力で備える

国土交通省 中国地方整備局 営繕部
Ministry of Land, Infrastructure, Transport and Tourism
Chugoku Regional Development Bureau

所在地：広島市中区上八丁堀6-30　広島合同庁舎2号館8階
電　話：082-221-9231（内線5151）
ＵＲＬ：https://www.cgr.mlit.go.jp/

営繕部についてより詳しく知りたい方へ

国土交通省　官庁営繕部　ホームページ
https://www.mlit.go.jp/gobuild/
中国地方整備局　営繕部　ホームページ
https://www.cgr.mlit.go.jp/eizen/index.html
中国地方整備局　岡山営繕事務所　ホームページ
https://www.cgr.mlit.go.jp/okaei/
中国地方整備局　入省案内
https://www.cgr.mlit.go.jp/profile/recruit/index.html

中国地方整備局営繕部
Facebook

中国地方整備局営繕部
Instagram

インターンシップに興味のある方へ

大学・高等専門学校等に在籍する学生を対象として、学習意欲を喚起し、高い職業意欲を育成するとともに、国土交通行政に関する理解の増進に資するために、インターンを行っています。実習を希望される方は、下記の中国地方整備局ホームページのインターンシップ関連ページよりお申し込み・ご相談ください。

・中国地方整備局ホームページ　インターンシップ
https://www.cgr.mlit.go.jp/profile/recruit/internship/index.html

令和７年３月版